

2019年 1 月20日 実施

平成30年度（第60回）
情報処理検定試験
〈ビジネス情報部門〉
第1級 試験問題

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は11ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、5. については数値を答えなさい。

1. 開発工程におけるテスト作業の一つで、開発したシステムが、設計どおりの機能や性能を備えているかを確認する開発者側の最終テスト。

ア. 結合テスト

イ. システムテスト

ウ. 単体テスト

2. WebサーバとWebブラウザが通信をした際、ユーザ側における利便性向上のため、ユーザIDやアクセス履歴などの情報がブラウザ側の端末に一時的に保存されるしくみ。

ア. Cookie

イ. MIPS

ウ. VoIP

3. 次の式で算出され、コンピュータシステムの障害発生から修復が完了するまでの平均時間。値が小さいほど、保守性が高いとされる。

「修復時間の合計 ÷ 修復回数」

ア. M I M E

イ. M T B F

ウ. M T T R

4. ある合唱コンクールにおける、各団体の発表を撮影した動画がある。18の団体が発表し、一団体あたりの動画のデータ容量が1.2GBであった。この動画をさらに80%に圧縮して、DVD(4.7GB)に記録する。一枚のDVDには複数団体の発表を記録し、一つの団体の発表を複数枚のディスクに分割して記録しない場合、発表団体すべてを記録するには最低何枚のDVDが必要か求めなさい。ただし、1GB=10⁹Bとする。

ア. 3

イ. 4

ウ. 5

5. 通信速度が200Mbpsの回線を用いて、2,550MBのファイルをダウンロードするためにかかる時間は何分か求めなさい。なお、伝送効率は85%とし、その他の外部要因は考えないものとする。ただし、1MB=10⁶Bとする。

【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の図は、K J法の手順を示している。空欄(a)～(c)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

情報収集 → → → → 文章化

ア. カード化

イ. グループ化

ウ. 図解化

問2. 次のコンピュータAおよびB～Eのネットワーク設定から、ネットワークアドレスがコンピュータAと同じになる適切なものを選び、記号で答えなさい。なお、コンピュータA～Eのサブネットマスクは、255.255.128.0が設定されている。

コンピュータAのネットワーク設定

コンピュータ	IPアドレス
コンピュータA	172. 16. 12. 16

コンピュータB～Eのネットワーク設定

コンピュータ	IPアドレス
コンピュータB	192.128. 12. 16
コンピュータC	192.168. 12.124
コンピュータD	172. 16. 7. 2
コンピュータE	172. 16.128. 17

ア. コンピュータB

イ. コンピュータC

ウ. コンピュータD

エ. コンピュータE

問3. PPM分析をするうえで必要となるデータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア. 各商品の売上高, 売上累計比率

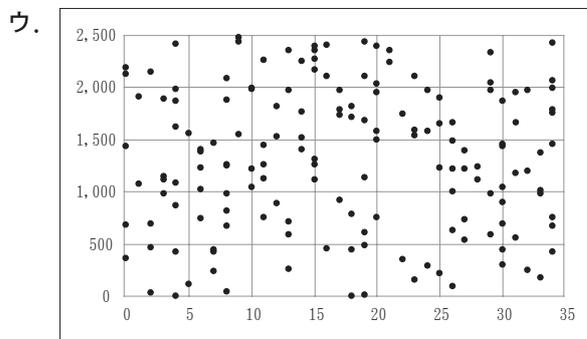
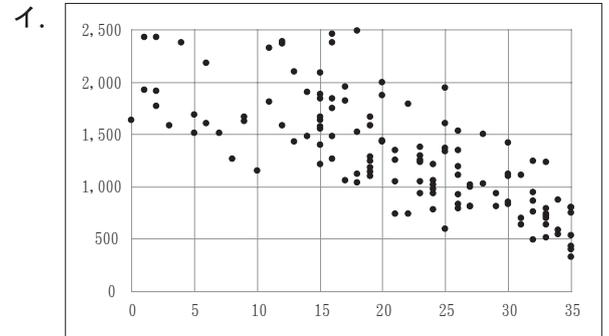
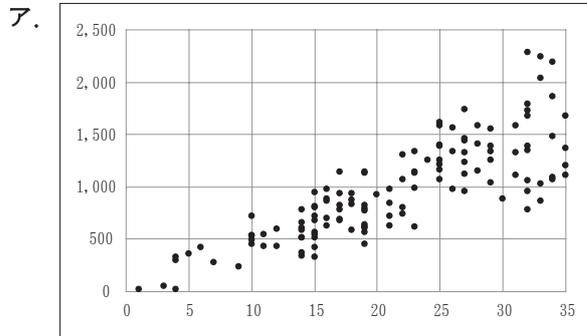
イ. 製品の市場成長率, 市場占有率

ウ. 顧客の名前, 性別, 年齢, 購入回数, 購入金額

問4. 次のような相関係数と近似曲線の式の散布図として適切なものを選び、記号で答えなさい。

相関係数：0.825478

近似曲線の式： $y = 45.073x + 5.7812$



問5. セキュリティポリシーを説明している次の文章のうち適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 企業や組織などにおける個人情報や商品情報などの情報資産を守るため、具体的な対策の方針や行動指針をまとめたもの。
- イ. 企業経営に欠かせない、人的資源、物的資源、財務的資源、情動的資源などの経営資源を有効に活用するため、コンピュータを利用して一元的に管理する手法。
- ウ. 企業が顧客のさまざまな情報を活用し、顧客との適切な関係を構築しながら、企業の営業戦略に生かしていく経営手法。

【5】 あるコンピュータ販売店では、商品の販売管理を次のようなリレーショナル型データベースを利用し管理している。次の各問いに答えなさい。

処理の流れ

- ① 新規の顧客は登録の手続きを行い、顧客表にデータを入力する。なお、「種別」は、個人の場合、個、法人の場合、法 となる。
- ② 商品表の商品は、コンピュータとアプリケーションソフトウェアのセットで販売されており、セットの内容は各機器の性能や、付属のアプリケーションソフトウェアの内容などによって異なる。また、サービス表よりアプリケーションソフトウェアの設定（アプリ設定）やネットワークの設定（ネット設定）、延長保証と、それらを組み合わせたさまざまなサービスを受けることができる。
- ③ 受付表は、一回の予約につき商品コードとサービスコードごとに1レコードずつ作成される。なお、すでに受け付けた注文に対し、顧客から、同じ商品を、同じサービスで数量の変更の申し出があった場合、該当レコードの数量を更新する。
- ④ 見積金額は、「価格」に「料金」を加え「数量」を掛けて求める。

顧客表

顧客番号	種別	名前	電話番号
10001	個	荒井 ○○	XXX-XXXX-XXXX
10002	個	伊藤 ○○	XXX-XXXX-XXXX
10003	法	(株)○○電気	XX-XXXX-XXXX
10004	法	○○物産(株)	XXX-XXXX-XXXX
}	}	}	}
10320	個	前田 ○○	XXX-XXXX-XXXX
10321	個	小島 ○○	XXX-XXXX-XXXX
10322	法	(株)○○商事	XXXX-XX-XXXX
10323	個	青木 ○○	XX-XXXX-XXXX
}	}	}	}
10768	個	山田 ○○	XXX-XXXX-XXXX

サービス表

サービスコード	サービス名	料金
F01	なし	0
F02	アプリ設定	3500
F03	ネット設定	3000
F04	延長保証	5000
F05	アプリ設定・ネット設定	6000
F06	アプリ設定・延長保証	8000
F07	ネット設定・延長保証	7500
F08	フルサービス	10000

(注) フルサービスは、アプリ設定、ネット設定、延長保証のセットである。

商品表

商品コード	商品名	価格
S001	Aセット	35000
S002	Bセット	45000
S003	Cセット	70000
S004	Dセット	90000
}	}	}
S021	Uセット	72000
S022	Vセット	172000
S023	Wセット	112000
S024	Xセット	192000
S025	Yセット	137000
S026	Zセット	129000

受付表

受付日	顧客番号	商品コード	サービスコード	数量
}	}	}	}	}
2018/01/11	10412	S015	F06	15
2018/01/12	10712	S022	F04	1
2018/01/13	10004	S026	F03	20
2018/01/13	10004	S026	F07	20
}	}	}	}	}
2018/12/08	10322	S004	F08	18
}	}	}	}	}
2019/01/16	10320	S002	F08	1
2019/01/16	10320	S021	F06	1
}	}	}	}	}
2019/01/17	10337	S025	F08	1
2019/01/17	10759	S025	F08	1
}	}	}	}	}

問1. 受付表の主キーとして適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、主キーは、必要最低限かつ十分な条件を満たしていること。

- ア. 受付日と顧客番号
- イ. 受付日と商品コードとサービスコード
- ウ. 受付日と顧客番号と商品コードとサービスコード

【6】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、あるレストランにおける、顧客からの評価を入力するためのものである。「チェック」は、「評価」が未入力の場合、何も表示せず、「評価」に入力された値が -5 ~ 5 の場合、OK を表示し、それ以外の場合、再入力をお願いしますを表示する。D 5 に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をD11までコピーする。

	A	B	C	D
1				
2	評価入力			
3	5 (良い) ~ -5 (悪い) で評価を入力してください。			
4	項目	評価		チェック
5	店の雰囲気	-1		OK
6	接客・サービス	4		OK
7	料理の提供時間	-2		OK
8	メニューの豊富さ	3		OK
9	味	5		OK
10	満腹感	-8		再入力をお願いします
11	価格			

=IF(B5="", "", IF() (B5)<=5, "OK", "再入力をお願いします"))

ア. INT

イ. LEN

ウ. ABS

問2. 次の表は、社員電話番号一覧である。「電話番号」を「置換後」のように、一つ目の - を (に、二つ目の - を) に置き換えて表示する。C 4 に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C
1			
2	社員電話番号一覧		
3	氏名	電話番号	置換後
4	角田 りの	XXXX-XX-XXXX	XXXX (XX) XXXX
5	真下 和花	XXX-XXX-XXXX	XXX (XXX) XXXX
6	平石 駿也	XXXX-XX-XXXX	XXXX (XX) XXXX
7	奥井 優	XX-XXXX-XXXX	XX (XXXX) XXXX
8	池水 早紀	XXXX-XX-XXXX	XXXX (XX) XXXX
9	正木 大翔	XXXX-XX-XXXX	XXXX (XX) XXXX
10	大木 律子	XXX-XXX-XXXX	XXX (XXX) XXXX
11	宮城 実緒	XXX-XXX-XXXX	XXX (XXX) XXXX
12	秋葉 北斗	XXXX-XX-XXXX	XXXX (XX) XXXX
13	西井 果音	XXXX-XX-XXXX	XXXX (XX) XXXX

ア. =SUBSTITUTE(SUBSTITUTE(B4, "-", "("), 1, "-", ")")

イ. =SUBSTITUTE(SUBSTITUTE(B4, "-", "("), 1, "-", ")", 2)

ウ. =SUBSTITUTE(SUBSTITUTE(B4, "-", "("), 2, "-", ")", 1)

問3. 次のシート名「申込入力」の 予約表へ登録 ボタンをクリックすると、シート名「申込入力」に格納された右のプログラムが実行され、D 8 の値をチェックした後、シート名「申込入力」の入力欄のデータが、シート名「予約表」の「予約番号」とともに、「会員番号」～「時間」に登録される。このような、手続きの自動化の名称として適切なものを選び、記号で答えなさい。

シート名「申込入力」

	A	B	C	D
1				
2	申込入力			
3		入力欄		確認欄
4	会員番号	14134		岩本 泰知
5	希望講座番号	9		プログラミング
6	希望講座日	2019/2/2		OK
7	希望時間	1	時間目	OK
8			確認	OK
9		予約表へ登録		

<プログラム>

```
Option Explicit
Sub 予約表へ登録()
    Dim r As Long, c As Long
    If Cells(8, 4).Value = "NG" Or Cells(8, 4).Value = "" Then
        MsgBox ("条件を満たしていません")
        Exit Sub
    End If
    r = 4
    Do While Worksheets("予約表").Cells(r, 1).Value <> ""
        r = r + 1
    Loop
    Worksheets("予約表").Cells(r, 1).Value = r - 3
    For c = 2 To 5
        Worksheets("予約表").Cells(r, c).Value = Cells(c + 2, 2).Value
    Next c
    Range(Cells(4, 2), Cells(7, 2)).ClearContents
    MsgBox ("予約表へ登録が終了しました。")
End Sub
```

シート名「予約表」

	A	B	C	D	E
1					
2	予約表				
3	予約番号	会員番号	講座番号	講座日	時間
4	?	?	?	?	?
531	528	11010	13	2019/2/5	4
532	529	16629	10	2019/2/6	2
533					
534					

ア. ピボットテーブル

イ. マクロ機能

ウ. ソルバー

問4. 次のシート名「集計表」は、シート名「出張記録」に記録された「交通費」「宿泊費」「その他」を「従業員番号」ごとに集計したものである。シート名「集計表」のD5に設定する次の式の空欄(a), (b)をうめなさい。ただし、この式をF9までコピーする。

シート名「集計表」

	A	B	C	D	E	F
1						
2	集計表					
3	従業員番号	従業員名	支払額計	内訳		
4				交通費	宿泊費	その他
5	1001	古山 夏子	346,990	117,090	165,000	64,900
6	1002	末広 悠斗	461,060	196,550	180,000	84,510
7	1003	谷川 遼介	432,790	207,420	165,000	60,370
8	1004	沢田 麗子	207,380	116,840	30,000	60,540
9	1005	増田 大翔	138,790	64,730	45,000	29,060
10		合計	1,587,010	702,630	585,000	299,380

シート名「出張記録」

	A	B	C	D	E	F
1						
2	出張記録					
3	出張日	従業員番号	従業員名	費目		
4				交通費	宿泊費	その他
5	2018/12/1	1001	古山 夏子	740	0	4,920
6	2018/12/1	1004	沢田 麗子	2,950	0	1,350
7	2018/12/2	1005	増田 大翔	30,060	30,000	930
8	2018/12/2	1002	末広 悠斗	1,740	0	3,060
9	2018/12/2	1003	谷川 遼介	30,050	15,000	2,360
10	2018/12/3	1004	沢田 麗子	6,400	30,000	2,400
11	2018/12/3	1002	末広 悠斗	3,200	15,000	2,940
12	2018/12/4	1001	古山 夏子	9,870	30,000	5,460
13	2018/12/4	1005	増田 大翔	3,260	0	4,020
14	2018/12/5	1005	増田 大翔	2,100	0	3,770
15	2018/12/5	1003	谷川 遼介	9,300	15,000	1,010
16	2018/12/6	1002	末広 悠斗	30,030	0	2,820
17	?	?	?	?	?	?
999						

=SUMIFS(出張記録! (a), 出張記録!\$B\$5:\$B\$999, (b))

問5. 次の表は、A2とC2に入力された年、月に対応するカレンダーを自動的に作成するものである。さらに、G2に入力した曜日が週始めになるようA4に表示する。A5に設定する次の式の空欄(a), (b)をうめなさい。ただし、この式をG10までコピーする。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	2019年	4月				週始め	月曜日
3	万年カレンダー						
4	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
5	1	2	3	4	5	6	7
6	8	9	10	11	12	13	14
7	15	16	17	18	19	20	21
8	22	23	24	25	26	27	28
9	29	30	1	2	3	4	5
10	6	7	8	9	10	11	12

=DAY(DATE(\$A\$2, \$C\$2, (a)))+((b))(-5)*7
-WEEKDAY(DATE(\$A\$2, \$C\$2, 1), SEARCH(LEFT(\$G\$2, 1), "月火水木金土日", 1)+10)+1))

(注) WEEKDAY関数の第2引数と戻り値の関係は次の表のとおりである。

第2引数の値	戻り値
11	数値1(月曜日)～7(日曜日)
12	数値1(火曜日)～7(月曜日)
13	数値1(水曜日)～7(火曜日)
14	数値1(木曜日)～7(水曜日)
15	数値1(金曜日)～7(木曜日)
16	数値1(土曜日)～7(金曜日)
17	数値1(日曜日)～7(土曜日)

【7】 次の表は、ある動物園における計算書である。作成条件および作成手順にしたがって、各問いに答えなさい。

シート名「計算書」

A	B	C	D	E	F	G
1						
2			計算書			
3						
4	1. 基本情報					
5	来園予定日（イベント表の日付にご注意ください）					
6	2019/2/6				2019/2/6	
7						
8	来園者情報					
9		会員コード	名前	有効期限	入園料	備考
10		AG0000001	品田 龍斗	2019/12/16	0	特別会員
11		AN0000002	品田 羽美	2019/1/29	2,500	有効期限切れ
12		C	一般子供		1,400	
13		C	一般子供		1,400	
14						
15						
16						
17	イベント一覧					
18	開催番号	イベント名	大人	子供	金額	
19	1	お泊まりコースA	2	2	48,000	
20	2	ふれあいコースA				
21	3	体験プログラムE	1	2	1,400	
22	4	体験プログラムH	1	2	2,800	
23						
24						
25						
26						
27						
28	2. 金額					
29		入園料	5,300			
30		イベント参加料	36,500			
31		支払金額	41,800			

シート名「会員表」

A	B	C
1		
2	会員表	
3	会員コード	名前
4	AG0000001	品田 龍斗
5	AN0000002	品田 羽美
6	CG0000003	百瀬 里沙
7	AG0000004	大平 理久
8	CG0000005	堀 あい
9	?	?
42	AN0000039	富山 敦子
43	CG0000040	富山 涼平
44	AN0000041	大垣 航太郎
45	AG0000042	田川 誠一郎
9	?	?
1003	CN0001000	柿原 梨紗

シート名「料金表」

A	B	C
1		
2	料金表	料金
3	イベント名	大人
4	お泊まりコースA	13,000
5	お泊まりコースB	14,000
6	お泊まりコースC	12,000
7	ふれあいコースA	7,000
8	ふれあいコースB	9,000
9	体験プログラムA	900
10	体験プログラムB	400
11	体験プログラムC	1,000
12	体験プログラムD	1,100
13	体験プログラムE	600
14	体験プログラムF	800
15	体験プログラムG	800
16	体験プログラムH	1,000

シート名「イベント表」

A	B	C	D	~	N	O	P
1							
2	イベント表						
3	イベント名\日付	2019/2/4	2019/2/5	2019/2/6	~	2019/2/16	2019/2/17
4	お泊まりコースA			○	~	○	
5	お泊まりコースB				~		○
6	お泊まりコースC				~		
7	ふれあいコースA	○	○	○	~	○	
8	ふれあいコースB				~	○	
9	体験プログラムA				~	○	
10	体験プログラムB				~	○	
11	体験プログラムC				~	○	
12	体験プログラムD				~	○	
13	体験プログラムE	○	○	○	~		
14	体験プログラムF	○	○		~		
15	体験プログラムG	○			~	○	
16	体験プログラムH	○		○	~		

作成条件

1. シート名「計算書」の入力欄に適切なデータを順に入力すると、入園料、イベント参加料、支払金額を求めることができる。なお、入力欄は、太野線で囲われており、確認欄は、関数や数式が設定されたセルである。
2. 入力欄に入力された値が適切でない場合や、値が参照する表にない場合、確認欄に エラー を表示し、入力欄が未入力の場合、確認欄に何も表示しない。また、確認欄が空欄または エラー の場合、その次の入力項目以降の確認欄に何も表示しない。
3. 一度に入力できるのは、大人と子供を合わせて6人以下とする。
4. 会員コードは、次のように9文字で構成されている。年代コードは、A（大人）とC（子供）であり、区分コードは、G（特別会員）とN（通常会員）である。なお、会員ではない場合、大人はA，子供はCの1文字とする。

例 AG0000001 → A G 0000001
 年代コード 区分コード 連番

5. 入園料は、大人が2,500円、子供が1,400円である。なお、会員の場合、入園料が無料になる。ただし、来園予定日に有効期限が切れている場合、年代コードに応じた入園料が発生する。
6. イベント参加料は、一人でも特別会員がいる場合、割引きを受けることができる。割引料は、イベント参加料の合計に割引率（30％）を掛けて求める。ただし、有効期限が切れている場合、会員割引を受けることができない。

作成手順

1. シート名「計算書」は、次のように作成されている。
 - (1) B6は、「来園予定日」を入力する。また、G6は、B6が、シート名「イベント表」の「日付」に含まれる場合、B6を表示する。
 - (2) C10～C15は、「会員コード」を入力する。また、D10～D15は、「会員コード」がAの場合、一般大人，Cの場合、一般子供，それ以外の場合、「会員コード」をもとに、シート名「会員表」を参照し、「名前」を表示する。
 - (3) E10～E15は、「会員コード」をもとに、シート名「会員表」を参照し、「有効期限」を表示する。ただし、「会員コード」がA，またはCの場合、何も表示しない。
 - (4) F10～F15は、作成条件4と5をもとに「入園料」を表示する。
 - (5) G10～G15は、C10～C15の「区分コード」がGの場合、特別会員を表示し、Nの場合、通常会員を表示する。なお、「来園予定日」に「有効期限」が切れている場合、有効期限切れを表示する。ただし、「会員コード」がA，またはCの場合、何も表示しない。
 - (6) B19～B26は、行番号を利用して求めた1からの連番が、シート名「イベント表」のP4～P16の最大値以下の場合、行番号を利用して求めた値を表示し、それ以外は何も表示しない。
 - (7) C19～C26は、B19～B26をもとに、シート名「イベント表」を参照し、「イベント名」を表示する。
 - (8) D19～D26とE19～E26は、「大人」と「子供」の申込人数を入力する。
 - (9) F19～F26は、C19～C26をもとに、シート名「料金表」を参照し、求めた「大人」と「子供」の「料金」に、「大人」と「子供」の利用人数をそれぞれ掛けて求めた値を足して求める。ただし、「大人」と「子供」のそれぞれの利用人数が、C10～C15に入力した「年代コード」ごとの件数より多い場合、エラーを表示する。
 - (10) D29は、F10～F15の合計を求める。
 - (11) D30は、F19～F26の合計から、割引料を引いて求める。なお、割引料は、作成条件6から求めた値の100円未満を切り上げて求める。
 - (12) D31は、D29とD30の合計を求める。
2. シート名「イベント表」のP4～P16は、B4～O16から、行ごとにシート名「計算書」のG6と「日付」が一致する列を参照し、○の場合、当該の一つ前の行までの数値の個数に1を加算して求め、それ以外の場合、何も表示しない。

「問題を読みやすくするために、
このページは空白にしております。」

問1. シート名「計算書」のF10に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切な組み合わせを選び、記号で答えなさい。

=IF(OR(D10="", D10="エラー"), "",
IF(AND(E10<>"", E10<input type="text" value="(a)"/>\$G\$6), 0, IF(

- ア. (a) < (b) LEFT イ. (a) >= (b) LEFT ウ. (a) = (b) RIGHT

問2. シート名「計算書」のF19に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

=IF(B19="", "", IF(OR(COUNTIFS(\$C\$10:\$C\$15, IF(AND(D19="", E19=""), "", VLOOKUP(C19, 料金表!\$A\$4:\$C\$16, 2, FALSE)*D19
+VLOOKUP(C19, 料金表!\$A\$4:\$C\$16, 3, FALSE)*E19)))

- ア. "=A?????????" イ. "=A?" ウ. "=A*"

問3. 次の式は、シート名「計算書」のD30に設定する式である。この二つの式が同等の結果となるように、下の式の空欄(a), (b)にそれぞれあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

イベント参加料合計－イベント参加料合計×割引率の式で求める方法

=IF(OR(COUNTIFS(C10:C15, "")=6, COUNTIFS(D10:D15, "=エラー")>0), "", SUM(F19:F26)
-CEILING(SUM(F19:F26)*IF(IFERROR(MATCH("特別会員", G10:G15, 0), 0)>0, 30%, 0%), 100))

イベント参加料合計×(1－割引率)の式で求める方法

=IF(OR(COUNTIFS(C10:C15, "")=6, COUNTIFS(D10:D15, "=エラー")>0), "", *(1-IF(IFERROR(MATCH("特別会員", G10:G15, 0), 0)>0, 30%, 0%),

- ア. CEILING イ. ROUNDDOWN ウ. ROUNDUP
エ. -2 オ. 2 カ. 100

問4. シート名「イベント表」のP4に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をP16までコピーする。

=IF(IFERROR(INDEX(B4:O4, 1, MATCH(計算書!\$G\$6, \$B\$3:\$O\$3, 0))="○", FALSE),

- ア. COUNT イ. COUNTA ウ. SUM

問5. シート名「計算書」が次のように表示されているとき、D31に表示される適切なデータを答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							

計算書

1. 基本情報
来園予定日 (イベント表の日付にご注意ください)
 ※

来園者情報

会員コード	名前	有効期限	入園料	備考
AN0000039	※	※	※	※
A	※	※	※	※
CG0000040	※	※	※	※

イベント一覧

開催番号	イベント名	大人	子供	金額
1	お泊まりコースA	2	1	※
2	ふれあいコースB	2	1	※
3	体験プログラムA			
4	体験プログラムB	2	1	※
5	体験プログラムC			
6	体験プログラムD			

2. 金額

入園料	※
イベント参加料	※
支払金額	※

(注) ※印は、値の表記を省略している。

(平成31年 1月20日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成30年度 (第60回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級

解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5
					分

小計	
----	--

【4】	問1			問2	問3	問4	問5
	(a)	(b)	(c)				

【5】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

【6】	問1	問2	問3	問4		問5	
				(a)	(a)		
				(b)	(b)		

【7】	問1	問2	問3		問4	問5
			(a)	(b)		

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(平成31年 1月20日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成30年度 (第60回) 情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	サ	イ	ケ	カ	エ

【2】	1	2	3	4	5
	カ	ウ	ク	ア	エ

【3】	1	2	3	4	5
	イ	ア	ウ	ウ	2 分

各2点
15問

小計	30
----	----

【4】	問1			問2	問3	問4	問5
	(a)	(b)	(c)				
	ア	イ	ウ	ウ	イ	ア	ア

【5】	問1	問2	問3	問4	問5
	ウ	イ	DISTINCT	ア	価格 + 料金

各3点
10問

小計	30
----	----

【6】	問1	問2	問3	問4		問5	
				(a)	D\$5:D\$999	(a)	COLUMN
	ウ	ア	イ	(b)	\$A5	(b)	ROW

【7】	問1	問2	問3		問4	問5
			(a)	(b)		
	イ	ウ	イ	エ	ア	49,800

- ※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。
- ※ 記述問題の大文字、小文字、コンマの有無は問わない。
- ※ 【6】問4(b)は、集計表!\$A5 も可とする。

各4点
10問

小計	40
----	----

得点合計

100